

三遠南信地域オープンデータライブラリ構築に係る基礎調査

委託元：三遠南信地域連携ビジョン推進会議

受託先：静岡県西部地域しんきん経済研究所・東三河地域研究センター・しんきん南信州地域研究所

目 的

総務省が進めるオープンデータの動きを踏まえ、三遠南信オープンデータライブラリの基本的考え方を検討するための基礎情報の収集を目的。

方法

- ①オープンデータ整備の実態調査
 - ・SENA構成員等に対するアンケート調査の実施（自治体、商工会議所等）
発送数308機関（回収数109機関）
 - ・ヒアリング調査（ソフトウェア企業、商工会議所・商工会、大学、自治体）
- ②広域的な取組事例分析
 - ・久留米市／倉敷市等

実態調査 結 果

- ・ホームページで情報発信している機関：90%
- ・発信情報分野：自らの機関の情報、催し物・セミナー情報（産業）、催し物・セミナー情報（生活）等
- ・オープンデータの整備状況：開設済は2割未満
- ・三遠南信オープンデータ整備による利用の視点
 - ・『安心・安全』『医療福祉』『快適な住環境として飲食等への利活用』『観光振興』『工業振興』等

事例分析 結 果

- ・オープンデータの整備目的の明確化と官民による共有化が必要。
- ・オープンデータは地域固有の情報インフラであるという官民の意識醸成が必要。
- ・先導機関による推進と他地域を巻き込んでいく取り組みが必要。

三遠南信 オープンデ ータの基本的 考え方

意義・目的

- ・「地域産業振興」「住民の生活環境の改善」等が重要な視点。

サイト内容等

- ①オープンデータの収集方法、リスク、費用からサイト設置場所を検討。
- ②整備するデータ、性格等を踏まえ、「リソース蓄積型」「ポータルサイト型」を選定。
- ③情報分野は、「広域で共通して入手できるデータ」「効果が期待される安全・安心、医療福祉、楽しみ等や、産業振興・観光等を中心に考える」「SENA独自で収集できる情報」等に留意する必要。

利活用推進

- ①オープンデータを利用した活用研修、「ハッカソン」等の交流機会等の開催が必要等
- ②できるデータから徐々に整備できるような段階的な計画づくりが重要。
- ③アプリ開発では、制度設計（補助制度等）や民主導による新たな推進組織を設置が重要。